

国内実態調査報告書

テーマ : 丸市倉庫株式会社の「タイヤ交換アプリ」の評価・改善案提案
ゼミ名 : 堀内 恵ゼミ
調査日 : 2022年9月7日(水)～9月9日(金)
調査先 : 丸市倉庫株式会社
授業科目名 : 演習Ⅰ、演習Ⅲ
参加学生数 : 11名(3年生)、16名(4年生)

調査の趣旨(目的)

丸市倉庫株式会社のタイヤ交換アプリについて調査し、課題を見つけ改善案を提案する。企業の現状のビジネスプロセスを分析し、課題を見つけ解決策を講じるまで一貫通貫で取り組む力を育成する。

調査結果

事前訪問調査として、7月中にゼミ生10名と教員は丸市倉庫に訪問して、現在のタイヤ履き替え・保管ビジネスに関する戦略、取り組みについて担当者よりお話を頂く。また、現在開発中の「交換タイヤアプリ」の基本機能、および顧客がタイヤ予約をするまでの流れ、交換サービスを提供する事業者が交換アプリにタイヤの履き替えサービス提供可能な曜日・時間・金額などを入力する流れについても説明をして頂く。加えて、「交換タイヤアプリ」にログインアカウントを提供してもらう。ここでの報告資料ならびに「交換アプリ」の内容に基づいて、夏休みに約3週間かけて、現状業務について環境・戦略・業務分析を班ごとに行う。

9月7日から9日かけての本調査では、「交換タイヤアプリ」が開発されるまでの経緯、機能、現在の取り組み状況、課題、今後の展望について担当者よりお話を頂く。この情報に基づいて、夏休みに準備してきた環境・戦略・業務分析の図式化整理・モデルについての見直し(再構成)を行う。その上で、改善提案の可能性について、班ごとに議論を行い、一連の図式化整理・モデル・業務改善案について班ごとに報告を行う。これらの報告では、丸市倉庫の担当者よりフィードバックを頂く。

以上の活動を通じて、当初予定していた通りの成果を得られることができた。今後は、これらの一連の調査のやり方をベースにしつつ、3年生のボランティア4名は、岩手県遠野木工団地のサプライチェーン改革について取り組む予定である。また、4年生は、学生生活の集大成として卒論制作に取り組む予定である。